



公益財団法人 国際文化会館
International House of Japan

日文研・アイハウス連携フォーラム 10

志賀直哉の文学—外国語からの養分

カク ナン エン

講師：郭 南燕 (日文研准教授)

コメンテーター：都甲 幸治 (翻訳家、早稲田大学教授)



2017年 1/20 (金) 6:30-8:00 pm (開場 6:00 pm)

国際文化会館 講堂 用語：日本語 (通訳なし)

参加費：無料 (要予約)

簡潔な表現、的確な描写、鮮明な視覚性から「近代散文の最高峰」といわれてきた志賀直哉 (1883-1971) の文学。志賀は、当時の日本語の文体を不満に感じ、新しい文体を創ろうと、ラフカディオ・ハーンの英語文体や、台湾人学生の日本語作文などを、意欲的に吸収する柔軟な言語意識の持ち主でした。今日の国際社会において、このような言語的背景を持つ志賀文学の尖鋭性からいかなる啓示を得ることができるのかを郭氏にお話しいただきます。



郭 南燕 (国際日本文化研究センター 准教授)

上海の復旦大学卒業後、お茶の水女子大学大学院に留学、博士号取得 (人文科学)。1993年よりニュージーランド・オタゴ大学で日本語・日本文化を教える。2008年より現職。専門分野は日本近代文学、東西交流。主な著作に『Refining Nature in Modern Japanese Literature』(Lexington Books, 2014)、『志賀直哉で「世界文学」を読み解く』(作品社、2016年) など。



都甲 幸治 (翻訳家、早稲田大学文学学術院 教授)

1969年、福岡県生まれ。東京大学大学院修了。著書に『偽アメリカ文学の誕生』(水声社、2009年)、『21世紀の世界文学30冊を読む』(新潮社、2012年) など、訳書にスコット・フィッツジェラルド『ベンジャミン・パトン 数奇な人生』(イーストプレス、2009年)、ドン・デリーロ『天使エスメラルダ』(共訳、新潮社、2013年) などがある。

❖ 2014年度より、国際文化会館(アイハウス)と国際日本文化研究センター(日文研)は、多角的に現代日本の理解を深めるためのフォーラムを、シリーズで共催しています。

お申し込み・お問い合わせ

国際文化会館 企画部 (月-金 9am-5pm)

東京都港区六本木5-11-16 TEL:03-3470-3211

E-mail: program@i-house.or.jp <http://www.i-house.or.jp>

講演当日、予約確認メールまたは本チラシをご提示の上、国際文化会館内のレストランでお食事いただいた方には食後のコーヒー/紅茶もしくはアイスクリーム(ザ・ガーデン)、グラスワイン(SAKURA)をサービスいたします。ご利用の際は、事前ご予約をお勧めいたします。

